

クラブ活動報告 大会成績

ゴルフ部

【第59回 TEAMきずな杯】

■日時/2025年10月4日(土)
■場所/Kochi黒潮カントリークラブ
(太平洋・暖流コース)

優勝 中村 章一郎(名誉院長)

準優勝 沼田 明(名誉院長)

- 3位 堀川 健太 (管理部)
- 4位 湯浅 仁 (ゲスト)
- 5位 洲脇 充 (ゲスト)



野球部

【病院対抗リーグ】

■日時/2025年9月28日(日)
高須病院ダイアライザー vs つつい脳神経外科

	1	2	3	4	5	6	7	計
高須病院ダイアライザー	1	1	0	1	0	1	1	5
つつい脳神経外科	1	0	0	3	1	1	x	6

■日時/2025年10月16日(木)
高須病院ダイアライザー vs 高知大学病院

	1	2	3	4	5	6	7	計
高須病院ダイアライザー	2	2	2	0	0	0	2	8
高知大学病院	5	1	1	3	2	0	x	12

■日時/2025年11月16日(日)
高知刑務所診療所 vs 高須病院ダイアライザー

	1	2	3	4	5	6	7	計
高知刑務所診療所	0	0	0	0	1	4		5
高須病院ダイアライザー	2	0	3	0	0	0		5



ニューフェイス紹介

2025年9月16日~2025年12月1日

①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



透析室 クラーク
上田 美佳 (うえた みか)

①友人のおしゃべり・読書
②職員の皆様が本当に優しく、病院も明るく清潔で、とても良い病院だと感じました。
③早く確実に業務を覚えるよう頑張ります。



透析室 クラーク
廣内 明子 (ひろうち あきこ)

①おいしいものを食べること
②開放感があり、スタッフの皆さんの接し方が優しく丁寧な印象でした。
③少しでも早く業務に慣れるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



透析室 介護福祉士
中野 早雪 (なかの さゆき)

①メダカ・ハンゲル・滝めぐり
②温かい雰囲気がありつつ、機能的に整備され、物も人もすっきりとまとまりのある印象。
③新しい経験を積めるチャンスなので、色々ご教授下さい。意欲的に働きたいと思います。



透析室 助手
中平 健 (なかひら たけし)

①道の駅めぐり(ドライブ)・釣り
②外来対応される職員さん、患者さんも笑顔が見られ信頼関係が出来るなと感じました。
③物事は慌てず慎重に考えて行動する事。仕事への取り組み作りなどは丁寧さを心掛ける事。



病棟 看護師
金尾 麻理子 (かなお まりこ)

①編み物・布小物作り
②院内が明るく広々として清潔感のある印象でした。
③病棟勤務は久しぶりなので緊張していますが、1日でも早く仕事を覚えたいです。



訪問看護ステーションたかす 看護師
濱田 恵 (はまた めぐみ)

①アウトドア・愛犬と遊ぶ
②院内は綺麗で、どこに行っても職員の方が親切で安心して働ける職場だと思いました。
③沢山の学びを深め、利用者さんが安心して在宅療養できるよう頑張ります。



リハビリテーション部 理学療法士
新谷 幸巳 (にいや ゆきみ)

①散歩・ドラマ鑑賞
②患者さんに寄り添うリハビリが印象的で、温かい雰囲気の病院だと感じました。
③学ぶ姿勢を大切に、温かく寄り添う理学療法士として成長していきたいです。



ご結婚おめでとう

安芸臨床工学部
大家 希穂(おおけ きほ)さん
旧姓:山本 2025年11月22日入籍

編集後記

これからも、寺尾会長の想いを胸に、職員一同力を合わせ頑張ってまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(広報委員会/山脇)

尚腎会
2025年11月の診療実績

●外来患者数/2,638人 ●紹介患者率/32.0% ●新入院患者数/80人
●退院患者数/78人 ●平均在院日数/19.1日 ●病床利用率/73.0%

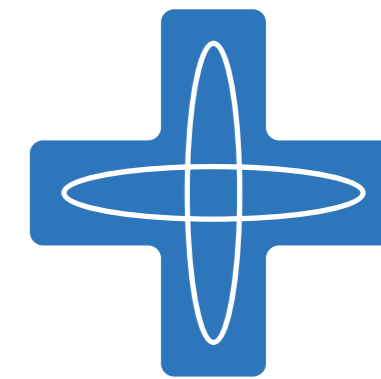


■院内広報誌「ふれあい」 vol.118 ■発行日/2026年2月25日
■発行所/高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377
■http://www.takasuhp.or.jp ■発行人/池辺弥夏 ■編集/広報委員会
■印刷所/(有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8

右記のQRコードより、高知高須病院の携帯サイトに簡単アクセス!



ふれあい



高知高須病院 院内広報誌

1月号
2026
vol.118



目次 寺尾尚民会長を偲んで

- ◆ 風雪努力賞
- ◆ 日本医師事務作業補助者協会 優秀演題賞
- ◆ 四国透析療法研究会 学術奨励賞
- ◆ 職員運動会開催
- ◆ 忘年会・永年勤続表彰式
- ◆ クラブ活動報告
- ◆ ニューフェイス紹介
- ◆ ご結婚おめでとう

理念 患者さんの良き理解者、援助者となり、より良い医療を提供します

1. 患者さんの立場を理解し、暖かい心、豊かな心で、患者さんの立場に立った医療を実践します
2. たゆみない知識の習得と技術の向上に心がけ、患者さんに還元します
3. 清潔で快適な環境を提供します
4. 柔軟性を持って、互いの連携と協調に努めます
5. 情報の確保に努め、進取の精神を持って創造と実践を心がけます

寺尾尚民 会長を偲んで



2025年9月23日、医療法人尚腎会の創立者である、寺尾尚民会長が逝去いたしました。50有余年に渡り当法人の発展に尽力された会長の「Ever Onward」の精神を胸にこれからも職員一丸となり前進して参ります。

医療法人尚腎会 理事長 池辺 弥夏



プロフィール

- 1937年 高知県生まれ
- 1962年 徳島大学医学部卒業
- 1967年 徳島大学大学院研究科修了
- 1968年 徳島大学医学部大学院講師
- 1970年 徳島大学医学部附属病院講師
- 1971年 徳島県立中央病院泌尿器科医長
- 1973年 高知赤十字病院泌尿器科および人工腎臓室部長
- 1974年 高須クリニック(現高知高須病院)を開設
- 1981年 高知高須病院附属安芸診療所を開設
- 1989年 高知高須病院附属南診療所を開設
- 2000年 高知高須病院室戸クリニックを開設
- 2002年 高知高須病院本院を大津の新病院へ移転
- 2011年 介護付有料老人ホームはるかを開設
- 2020年 会長に就任

糖尿病内科 部長 近森 一正

私が寺尾会長と初めて出会ったのは、1956年、徳島大学医学部に入学した時であった。学生時代は同じグループで学び合い、未熟だった私は多くのことを教えてもらった。

寺尾会長は1974年、高知県では最も早期に透析施設を持つ診療所を開設した。私などには思いつかない先見性に感銘を受けた。その後安芸、室戸に分院を、2002年に大津へ現在の高知高須病院を移転した。また、同年6月糖尿病内科外来を開始した際、当時高知赤十字病院に在籍していた私に、会長から当院に来るよう勧められ、2003年から糖尿病内科に就職した。

寺尾会長は学生時代から健康でスポーツマンで、サッカー、ヨット、山岳部などで活躍していた。

ゴルフのスコアも同年齢ではトップクラスを維持していた。数年前から、月2回会長室で昼食を食べながら、学生時代の思い出から院内の出来事や病院経営のことなど語り合うのが楽しみであった。

このように会長は健康だと信じていたが、最近なんとなく元気がなくなり、好きなゴルフをやめ、自動車の運転もしなくなった。院内で治療を行っていたが、検査のため高知大学医学部附属病院に入院した。健康で帰ってくるものと思っていたのに、ついに旅立ってしまった。同年齢の私としてはショックで、1ヶ月くらい立ち直れなかった。

会長の「患者さんのために」という心構えと、「Ever Onward」の精神には感銘を受ける。寺尾会長の御霊の平安を心からお祈りいたします。

医療法人尚腎会 名誉院長 沼田 明

寺尾先生に初めてお目にかかったのは1977年2月初旬でした。徳島大学から高知市民病院に赴任し、上司の紹介で、週1回勤務させていただく事になりました。

それ以降50年半世紀にわたり、お世話になったこととなります。公私ともに、遠慮なく話せるようになったのは、1981年高須クリニック附属安芸診療所を開設されることになり、初代院長として迎えていただいた頃からです。

一回りも離れた先輩ではありましたが、医療

面。娯楽とも我々よりも、積極的で進歩的であり、逆に若造が刺激を受けるような状態でした。この度縁あって、高知高須病院に戻ってまいりましたが、何かお役に立てたでしょうか？一度お聞きしたかったです。

最後に先生の理念であった患者さんのよき理解者、援助者となりより良い医療が提供できるようもう少し頑張っていきます。

安らかにお休みください。

理事・葬儀委員長 十河 清

令和8年初春、尚腎会の理事長・院長をはじめとするスタッフ一同は、例年に増して緊張感・責任感を感じながら仕事始めを迎えた。

今は亡き寺尾尚民会長の教え・病院経営の基本方針をしっかりと受け継ぎ、診療や介護に当たろうとする意欲がそうしたのだと思う。

会長は、本当に研究熱心であり勉強家であった。最先端機器の導入に際しては、日赤本社の

担当部長を紹介したこともあった。著名な講師の講演会によく出席され、医学以外の幅広い知見を習得する意欲も旺盛であった。ゴルフや食事会を通じて様々な職業の人と交流し人脈を広げられた。こうした中で培われた会長の人柄、魅力が尚腎会を育み、大きな遺産として残されたのだと感服した。



高知高須病院 院長 大田 和道



会長との思い出は、湯浅健司前院長が急逝された後の病院長職を私が引き継いだこの10年間、常に叱咤激励を頂いたことです。会長は「現状に満足せず、常に新しい事を取り込まなければ後退を招くだけだ」と述べられていました。

最近の医療情勢は、以前の右肩上がりの成長

の時代ではなく、どうやって生き残っていくかのサバイバルレース時代に突入していますが、会長が作られ、そして大きくされた尚賢会高知高須病院を更なる高みに達するための先導（船頭）として働いていきます。



高知高須病院室戸クリニック 院長 清藤 啓之



会長との出会いは大学勤務後に高知にUターンし10年経過した2016年でした。高須病院室戸クリニックの院長を拝命しお付き合いが始まりました。

思い出としては、職場が遠方だったためよく一緒にゴルフ場での会話が長く、出会うとゴルフの話か、車の話でした。年齢はひと回り違いました

が、車の趣味は似ている所がありました。

ゴルフも一緒にすると人との出会いを大切に、何事に関しても常に前向きな姿に人間としての凄さを感じさせていただきました。

尚賢会50年のうちわずか10年のお付き合いでしたがどうもありがとうございました。

ご冥福をお祈り申し上げます。



高知高須病院附属安芸診療所 院長 水口 隆



血液透析患者におけるerythropoietin (rHuEpo) 治療反応性の指標としての血清トランスフェリンレセプター

■水口 隆・水口 潤・川島 周 (川島病院) ■湯浅 健司・寺尾 尚民 (高知高須病院)

■香川 征 (徳島大学泌尿器科)

日本透析医学会誌 30:185-190,1997

30年前の論文です。共同研究に参加してもらえたのは四国で高須病院だけでした。私が縁も所縁もない高知県に来たのはこの論文があったためでした。10年前に湯浅院長が亡くなられ、昨年、寺尾会長が亡くなられました。私の高知県における精神的な支柱が無くなってしまいました。

私が寺尾会長を知ったのはこの論文を書く直

ぐ前でした。四国透析研究会の懇親ゴルフ (サンピアGC) で76で回っておられました。私が高須病院に来てからもゴルフに誘っていただいたことが昨日のように思い出されます。私が指を悪くする前の状態で一緒にプレーしてみたかったです。非常に寂しいです。

御冥福を祈っております。



介護付有料老人ホームはるか 施設長 岡林 正美



寺尾会長は、透析治療の方のためにと大いなる情熱をもって、はるかを開設されました。会長の厳しさに打ちひしがれながらも成長できたことに感謝しております。

「高知でも評判のいい施設になった。ありがとう。」と喜んでくださり、会長の大きな優しさと強

さも知りました。会長の思いは、はるかに生き続けます。私たちは会長のご遺志を受け継ぎ、さらに成長し続けてまいります。

会長のご冥福を心からお祈りします。ありがとうございました。





風雪努力賞おめでとうございます！

当院の風雪努力賞は2005年から透析を開始されて30年を迎えられた患者さんを表彰しております。今年も、大谷和子さんと、北岡幸弘さんの2人に表彰状と記念品が贈られました。



前列中央が大谷和子さん



前列左から二人目が北岡幸弘さん

30年の治療継続に心より敬意をこめて

透析療法部 統括師長 筒井 夏子(つひ なつこ)

賞状には、長い年月の中で、体調の変化や日々の生活との両立など、数えきれないほどのご苦勞を乗り越えながら30年間透析治療を頑張ってきた事に対する敬意と、これからも努力される事を願う内容が記載されています。

透析治療は、日進月歩で進化しており、透析を初めて行う時に起こりやすい不均衡症候群症状(嘔気・嘔吐、頭痛など)を起こす患者さんは少なくなりました。また、私が就職した29年前よりは、さまざまな新薬の効果により、貧血や高Pなど軽減できるようになってきたと感じます。

しかし、制限のある生活や、通院を続ける大変さは、誰にでも真似できるものではありません。これまで歩んでこられた道に深く敬意を抱くとともに、今後も安心して治療を続け、より豊かな日々をお過ごしいただけるよう、透析療法部は、安心・安全で質の高い透析治療や患者さんに寄り添った看護・介護の提供をしていきたいと思ひます。

30年という節目を迎えられたこと、本当におめでとうございます。

変わりゆく地域医療と臨床支援士の役割 ～未来への挑戦～



左から三人目が山崎

他施設の発表を聞き多くの刺激を受け、自分たちができることを改めて考えるきっかけになり、まだまだ学ぶことが多いと実感しました。今後も、MA一丸となり、医師の負担軽減に繋がる取り組みを継続していきます。

診療録の要点を集約した外来サマリは、診察中に情報を把握しやすくなり、診療情報提供書作成時にも活用できるようになりました。そしてその取り組みが評価され、優秀演題賞をいただくことができました。

医師が担当外の患者を診察する際、外来サマリがあれば、医師の負担軽減に繋がるのではないかと考え、取り組みました。高知県で開催された第14回全国学術集会へ参加させていただき、二目で治療歴が分かる「外来サマリ作成に向けた取り組み」について発表しました。

外来診療部 臨床支援士
山崎 美香(やまさき みか)

日本医師事務作業補助者協会
第14回全国学術集会

透析治療における透析液・電力使用量の削減について

10月5日に開催された第59回四国透析療法研究会にて、「透析治療における透析液・電力使用量の削減について」の演題発表を行い、学術奨励賞を受賞しました。スライドはふれあい115号のKAIZEN発表大会にて最優秀賞として掲載しています。



臨床工学部 臨床工学技士 小笠原 諒(おがさわら りょう)

今回、学術奨励賞をいただき大変嬉しく思います。透析機器のeco機能を活用するための方法として「①夜間帯電源OFF機能による電力削減②未使用透析監視装置の待機機能による電力および透析液の削減③液置換短縮機能による電力および透析液の削減」の3つを計画的に実施することで環境配慮に資することが出来ました。

今後も機器の運用改善とスタッフ側の創意工夫を継続し、診療の質と環境配慮の両立に努めていきたいと思ひます。



私たちチーム高知高須病院です!!

第1回

職・員・運・動・会 を開催しました!

当法人初となる職員運動会を「サンピアシリーズ体育館」にて開催しました。本院と分院の職員とその家族、約200名が参加し笑顔と歓声に包まれた一日となりました。開催の目的は、職員同士の交流とチームワークの向上、そしてリフレッシュと心身の健康です。

臨床工学部 臨床工学技士 仙頭 正人 (せんとう まさと)

準備は1年前から始まり、運動会の担当主任と管理職が中心となってスポーツイベント会社「スポーツマックス」と一緒に企画を進めてきました。

4チーム(赤・青・黄・白)に分かれ、各チームが院長や理事長を中心に団結力を発揮しました。競技種目は玉入れ、大玉頭上パス、ぐるぐるバット、子ども達のお菓子掴み競争やかけっこなど盛りだくさん。特にチーム対抗綱引きやシューティングMAXは大盛り上がりでした。

昼食は「たけごきのおむすびセット」や「チタパンのパンセット」を食べながら自然と他部署との交流に繋がりが楽しいエネルギー補給となりました。

最終競技のチーム対抗選抜リレーでは意外な俊足スタッフが登場し、会場中が大歓声に包まれ笑顔と感動の連続でした。

そして栄えある第1回高知高須病院職員運動会の優勝は松下副院長率いる黄色チーム!優勝カップと景品(お菓子)が贈られました。ちなみに私が副キャプテンを務めた白チームは惜しくも2位でした…。

初開催で手探りの中でしたが、多くの職員が協力し合い無事に成功できたことを嬉しく思います。職種を超えて声をかけ合い一致団結する姿に、当法人のチーム力を改めて感じた一日でした。



行け行け黄色!
押せ押せ黄色!



未来の
オリンピック
選手たち



気分爽快
最高!!



初大会!初優勝!! イエ〜イ



下克上!!
走りめけます!



MVP 受賞の皆さん

■管理部
近森 久司 (ちかもり ひさし)
リレーではゴール前で転倒。有沢師長に芸人だったら100点と早速いじられました。

■管理部・秘書
山寺 円 (やまでら まどか)
嬉しさ半分、恥ずかしさ半分ですが、黄色チームの優勝に少しでも貢献出来て、光栄です!

みんなで頑張った運動会



左から:近森、山寺、木下、寺井

■東部看護部
木下 桃 (きのした もも)
チームのみんなで一丸となって競技に取り組むことができ、いい思い出になりました!

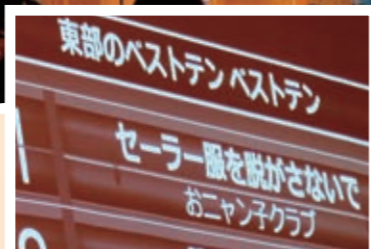
■リハビリテーション部 理学療法士
寺井 祥央 (てらい やすひろ)
普段話したことない方と、お話しや体を動かすことが出来て楽しかったです。



2025年 忘年会



巨大スクリーンで登場
華麗なるダンスを披露



東のジュリーとは
おしの事だぜ



〇×クイズ
当たりました



理事長の一引きで
ペアの温泉宿泊券を獲得



チームワークの大切さを実感した 心に残る忘年会!

安芸診療所 主任看護師 長崎 知沙(ながさき ちさ)

2025年12月13日(土)に尚腎会高知高須病院の忘年会がザ・グラウンパレス新阪急高知で開催されました。

忘年会に先立ち、今年逝去された寺尾会長を偲ぶ動画を上映しました。これまでの功績を胸に刻むとともに、改めて感謝の意を捧げる貴重なひとときになりました。そのあと、池辺理事長より1年間を振り返りながら、来年も心身の健康を保ちながら頑張らしようかと挨拶がありました。

さて、今年の余興は昨年の忘年会で清藤院長が発した「次回の余興は東部で!」の一声で附属安芸診療所と室戸クリニックが担当する事になりました。

皆で協力し衣装や小物の準備を進め、時間を合せてダンスの練習を重ね、分院が一致団結し迎えた忘年

会当日。【ザ・ベストテン】をテーマに少年隊「仮面舞踏会」、清藤院長扮する沢田研二「勝手にしやがれ」、水口院長率いるおニャン子クラブ「セーラー服を脱がさないで」の歌に合わせダンスを披露しました。

最初は恥ずかしさもありましたが「やるからには全力で!」と気持ちを切り替えステージへ。応援団の声援や会場からの手拍子や歓声も大きく、会場全体が一体となって盛り上がりました。

準備から本番まで東部スタッフ皆が一丸となり成功させたこの経験はチームワークの大切さを改めて実感しました。大変なこともありました、それ以上にとっても楽しく心に残る忘年会となりました。

永年 勤続 表彰式

2025年度尚腎会において、永年勤続表彰式が執り行われました。今年度は、23名の職員が表彰を受けられました。

表彰を受けられた皆様に、長年にわたるご勤務への感謝と敬意を心より申し上げます。日々の努力の積み重ねによって培われた知識と経験を、今後も存分に発揮され、尚腎会のさらなる発展にお力添えいただけることを期待しております。

ここでは、永年勤続職員を代表し、30年表彰を受けられた吉田美香さんによる謝辞の一部をご紹介します。



災害対応の経験と歩んできた30年

訪問看護ステーションあき 吉田 美香(よしだ みか)

私が高須病院へ入職したのは阪神淡路大震災のあった1995年3月で、今年で30年を迎えます。病棟を皮切りに外来、訪問看護ステーションたかすを経て、現在は実家のある安芸市で訪問看護ステーションあきに勤務しています。

30年間で最も印象深いのは、1998年9月の高知豪雨です。当時は災害マニュアルも備蓄もなく、私は準夜勤務中に院内が浸水する状況を経験しました。深夜勤務者は自宅待機となり、私たちは翌日まで勤務を続け、翌朝は多くの問い合わせ対応に追われました。幸い南分院の無事とスタッフの協力により、透析や食事の手配が行われましたが、後片付けにも時間を要したことを覚えています。

故寺尾会長は常に新しい挑戦を続け、人材育成にも尽力され、その思いは尚腎会の理念に受け継がれています。池辺理事長の就任により新たな風を感じる中、支えてくださった方々のおかげで成長できたことに深く感謝しています。今後も尚腎会の一員として微力ながら努めてまいります。

永年勤続リスト

勤続	表彰者合計数	所属	人数
勤続40年表彰	1	透析室	1
勤続30年表彰	1	安芸(訪問あき)	1
勤続20年表彰	10	透析室	5
		病棟	2
		臨床工学部	1
		訪問看護たかす	1
勤続10年表彰	11	保育	1
		透析室	2
		外来	1
		臨床工学部	3
		リハビリ	1
事務(管理部)	3		
運転手	1		